

## 編集顧問

|       |       |
|-------|-------|
| 生田 房弘 | 石塚 典生 |
| 糸山 泰人 | 内山真一郎 |
| 臺 弘   | 大友 英一 |
| 梶 龍兒  | 金澤 一郎 |
| 高坂 新一 | 作田 学  |
| 島津 浩  | 杉田 秀夫 |
| 高倉 公朋 | 塚田 裕三 |
| 辻 省次  | 寺本 明  |
| 中里 洋一 | 中込 忠好 |
| 中野 今治 | 彦坂 興秀 |
| 平山 恵造 | 藤澤浩四郎 |
| 真柳 佳昭 | 水澤 英洋 |
| 水野 美邦 | 柳澤 信夫 |

## 編集委員

|       |        |
|-------|--------|
| 河村 満  | (編集主幹) |
| 神田 隆  | 桑原 聡   |
| 酒井 邦嘉 | 泰羅 雅登  |
| 三村 將  | 森 啓    |

## 編集同人

|       |       |
|-------|-------|
| 入来 篤史 | 岩田 淳  |
| 宇川 義一 | 内原 俊記 |
| 大隅 典子 | 岡部 繁男 |
| 木村 和美 | 久保 義弘 |
| 栗栖 薫  | 小林 靖  |
| 斉藤 延人 | 砂田 芳秀 |
| 高橋 良輔 | 瀧山 嘉久 |
| 武田 伸一 | 千葉 厚郎 |
| 平田 幸一 | 寶金 清博 |
| 星 英司  | 星野 幹雄 |
| 本田 学  | 松野 彰  |

(五十音順)

## あとがき

本号では神経筋疾患の超音波診断が特集されています。手根管症候群、炎症性ニューロパチー、筋萎縮性側索硬化症、シャルコー・マリー・トゥース病、筋疾患について、それぞれの分野における第一線の専門家の方々に画像の実例も取り入れてわかりやすく解説していただいています。

多くの神経疾患において画像診断、生化学的バイオマーカーによる診断、遺伝子診断の研究が大きく進展していますが、末梢神経・筋疾患では、これまで電気生理学的検査が診断に大きく貢献してきました。この特集を通じて、今後神経・筋の画像診断は電気生理診断と相補的あるいは相乗的に発展して行くことがおわかりいただけると思います。

今回の特集で取り上げられている疾患の中でも、手根管症候群の頻度は特に高く、日常診療においてもよく遭遇するわけですが、手根管症候群の診断法についてはさまざまな議論がなされてきました。例えば電気生理学的診断（神経伝導検査）が診断に必須かという点については米国神経筋電気診断学会や米国リハビリテーション学会は強くその施行を推奨していますが、米国手の外科学会ではあまり必要ない、という見解が多くみられます。手根管症候群の診断は臨床症状（環指正中線での感覚障害が分かれる ring finger splitting, 短母指外転筋の筋力低下・筋萎縮, 早朝の疼痛の増悪など）の特徴的所見だけで可能であり、手術適応は「短母指外転筋の筋萎縮と疼痛の程度によって決まる」ということが主な論拠であり、ゆえに電気生理学的診断は必要ないと主張しています。そのような立場の米国の外科医も、超音波診断の価値は認める傾向にあります。手術を予定する場合に、視覚的に圧迫部位や形態学的変化がわかることは外科医にとっては魅力的なのでしょう。

筆者は神経筋の電気生理学的診断を日常的に利用していますので、神経伝導検査は他疾患の除外（手根管症候群ではほぼ100%に何らかの手根管伝導異常所見を呈するので、正常所見の場合には診断を再考する必要がある）、軸索変性の程度の定量的評価、という意義を含めて手根管症候群に必要な不可欠な診断ツールと信じていますし、診断を確定する補助検査としての有用性は今後もすたれないでしょう。ただし検査である限り正常値の設定が必要であり、神経伝導検査所見が境界域である場合は存在します。その場合に超音波検査を組み合わせることで診断の精度は確実に高くなります。逆に超音波検査で認められる神経幹の腫大所見が境界域にある場合には神経伝導検査は行われるべきでしょう。

本特集を通じて多くの読者に画像診断プラス機能診断によって、神経疾患の病態をより総合的に把握することの重要性に対する理解が深まることを期待いたします。

(桑原 聡)

## BRAIN and NERVE (第66巻 第3号)

2014年3月1日(毎月1回1日発行)

定価: 本体2,700円+税(送料実費)

2014年 年間購読料(税込, 送料弊社負担)

冊子版36,460円, 冊子+電子版(個人)41,460円/(共有)46,900円,

電子版(個人)36,460円/(共有)41,900円

※上記は2014年3月末までご注文分(2014年3月ご購入開始分まで)の年間購読料です。

印刷所 (株)アイワード (011)241-9341

広告申込 (株)ハイブリッジエージェンシー (03)3814-0089

発行 株式会社 医学書院

代表者 金原 優

〒113-8719 東京都文京区本郷1-28-23

電話 編集室直通(03)3817-5701 (小藤・風間・山崎)

販売部直通(03)3817-5659

FAX (03)3815-7802

E-mail bn@igaku-shoin.co.jp

Web <http://www.igaku-shoin.co.jp/mag/bn>

オンライン投稿 ID: brain パスワード: nerve

- Published by IGAKU-SHOIN Ltd., 1-28-23 Hongo, Bunkyo-ku, Tokyo ©2014, Printed in Japan.
- 本誌に掲載する著作物の複製権・翻訳権・上映権・譲渡権・公衆送信権(送信可能化権を含む)は(株)医学書院が保有します。
- 本誌を無断で複製する行為(複写, スキャン, デジタルデータ化など)は、「私的使用のための複製」など著作権法上の限られた例外を除き禁じられています。大学, 病院, 診療所, 企業などにおいて, 業務上使用する目的(診療, 研究活動を含む)で上記の行為を行うことは, その使用範囲が内部的であっても, 私的使用には該当せず, 違法です。また私的使用に該当する場合であっても, 代行業者等の第三者に依頼して上記の行為を行うことは違法となります。
- 【JCOPY】(株)出版者著作権管理機構委託出版物  
本誌の無断複写は著作権法上の例外を除き禁じられています。複写される場合は, その都度事前に(株)出版者著作権管理機構(電話03-3513-6969, FAX 03-3513-6979, [info@jcopy.or.jp](mailto:info@jcopy.or.jp))の許諾を得てください。